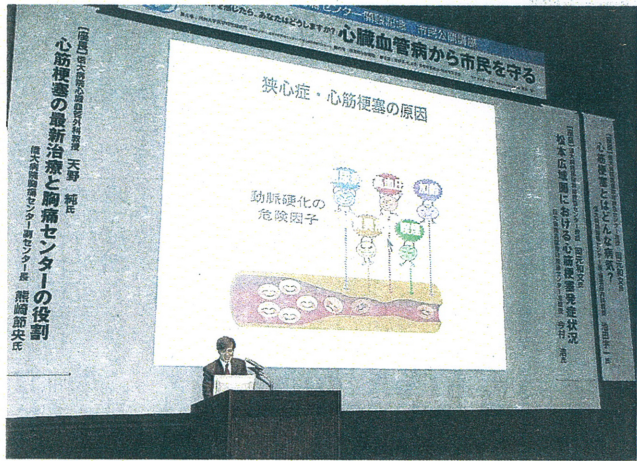


# 「胸痛センター」開設を記念 信大病院が市民公開講座



心筋梗塞について説明する池田センター長

## 松本

信大病院（松本市）は十六日、心筋梗塞などについて学ぶ市民公開講座（信濃毎日新聞社共催）をまつもと市民芸術館（同市）で開いた。同病院が九月、急性心筋梗塞など心臓病の早期診断と治療を目的に「胸痛センター」を開設したことを記念。同センター長の池田宇一・循環器内科教授らが、心筋梗塞の発症状況やセンターの役割などを解説した。

池田センター長は、五十一歳代と六十歳代の二人に一人が高血圧で心筋梗塞の危険性があることを説明。別の教授からは、急性心筋梗塞の患者が病院に運ばれる前に死亡する例が多いとの指摘もあった。池田センター長らは、集まった約四百二十人に「少しでも胸に痛みを感じたら、ちゅうちよせずにセンターを利用してほしい」と呼び掛けた。

同センターは高度救命救急センター内に設立。年中無休で二十四時間対応している。